

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

「岩手の幸福に関する指標」研究会（第5回）

2 開催した日時

平成29年4月28日（金）10:00～12:00

3 開催場所

岩手県立大学アイーナキャンパス 7階 学習室1

4 出席委員

委員5名中4名、アドバイザー1名中0名

5 研究会協議事項等

協議事項等

（1）今後のスケジュールについて

○政策推進室から、資料1に基づき、今後の研究会のスケジュールについて説明。

■委員からの主な意見等はなし

（2）県民参画等の方法の検討について

○政策推進室から、資料2、資料3に基づき、県民参画等の方法の検討結果について説明。

■委員からの主な意見等は次のとおり

（意見）

ワークショップに出てこない方も含め、一人でも多くの人に考えてもらう必要があるため、対応を検討する必要があるのではないかと。

（意見）

ワークショップの手引きを、県だけではなく、市町村や各地域で使ってもらえるようにPRしてほしい。例えば、移住定住についてもなかなか決められないような人達に対して、自分が生活していく中で何を重視しているのかについて理解してもらうために使用する等の活用方法があるのではないだろうか。視野を広げた普及を図っていくべきである。

（回答）

政策地域部では市町村課も所管しており、移住定住を所管している地域振興室も同じ部内にあることから、連携をとりながら、情報共有していきたい。

(3) 具体的な客観的指標の例について

○政策推進室から、資料2、資料4に基づき、具体的な客観的指標の例を示し、説明。

■委員からの主な意見等は次のとおり

(意見)

民生委員については、なかなか手がないという現状があり、将来に渡って継続的に見ていく指標としては不適當ではないか。

(意見)

一人当たりの県民所得についても、震災の影響で一時的に上がっているが、今後下がっていくと思われる。通常時と比べて異なる動きをしているデータの見方についても、考える必要がある。

(回答)

単年度ごとに数値を見ていくという考え方ではなく、長期的に指標がどういう推移をとっていくのかという点を見ていくことが重要であることから、参考値として、震災前の数値を載せる等の対応を行っていきたい。

(意見)

婚姻率や、三世同居率等、数字が高くなっていくことが良いのか、低くなっていくことが良いのか、一概には言えない指標もある。何のために使う指標なのか、もう一度ふるいにかけるべき。

(意見)

指標が政策に直結するのかどうか、つまり、政策として適切かどうかという視点でふるいにかけるのが良い。その視点で見れば、例えば常設映画館数という指標は、政策として上昇させるのは難しいと思われるので、参考値として入れるか、あるいは削除してしまうかだと思う。

(意見)

指標については、そもそも前提として、長く推移を見ていける数値をとっていくことが大切である。

(意見)

指標が上がっていけば良いのか、下がっていけば良いのか、あるいは安定していることが良いのか、三世同居率のような、人によって価値判断が分かれるものについては、本指標に選定するのは難しいのではないか。

(回答)

今回提示した指標を、政策に関連する指標と、岩手の現状が分かる資料としての参考指標という形で分類し、整理した上で、次回の研究会でお示ししたい。

(意見)

都市的な指標が多くなっているが、岩手県のように、広大な県土と優れた自然環境を持つ土地柄を、都市的な指標以外のもので見えていく必要がある。具体的には、温泉の数、消防団員数、一人当たり医療費、郷土芸能に取り組む団体数などが挙げられる。こうした、都会的な数字ではない数値も反映できれば良いのではないか。

報告事項

平成 29 年県の施策に関する県民意識調査結果（速報）について

○政策推進室から、資料 5 に基づき、平成 29 年県の施策に関する県民意識調査結果（速報）のうち、幸福度に関連する部分を中心に説明。

■委員からの主な意見等は次のとおり

(意見)

意識調査の回収率を見ると、高齢者の方が約半数を占めており、若年層の意見が反映されていない可能性がある。分析にあたっては、年齢階層別、男女別に分けて見ていくべきではないか。

(意見)

資料 35 頁の「あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。」という主観的幸福感に関する設問は、「幸福」と「やや幸福を」足し合わせて集計しているが、この 2 つの回答の中でも、昨年調査と比べて動きがあることがあると考えられるので、分けて表現した方が良い。

その他

特になし

会議資料

- 資料 1 「岩手の幸福に関する指標」研究会 今後のスケジュール（案）
- 資料 2 「岩手の幸福に関する指標」研究会（第 5 回）検討項目資料
 - 1 県民参画等の方法の検討について
 - 2 具体的な客観的指標の例について
- 資料 3 幸福について考えるワークショップ手引き（案）
- 資料 4 客観的指標の例の一覧
- 資料 5 平成 29 年県の施策に関する県民意識調査結果（速報）

※会議資料及び会議録については、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0名
報道 4社

7 問い合わせ先

盛岡市内丸10番1号
岩手県政策地域部政策推進室評価担当 TEL019-629-5181 FAX019-629-5254

8 ホームページアドレス

【決裁後取得】

9 その他

本研究会について御意見がありましたら、上記問い合わせ先までFAX等でお寄せください。
今後の研究会での審議の参考とさせていただきます。